

**国際芸術祭「あいち 2022」ラーニング・プログラム  
愛知と世界を知るためのリサーチ  
『“ほの国”を知るためのプロジェクト(仮)』の参加者を募集します**

国際芸術祭「あいち 2022」では、幅広い層を対象とした様々なラーニング・プログラムを順次、実施していきます。

ラーニングの参加プログラム「愛知と世界を知るためのリサーチ」は、芸術祭の開催地である愛知にまつわる様々な事柄をテーマに取り上げ、我々が現在立っている場所について明らかにしながら、「世界とは何か」という謎に迫るリサーチをベースにしたプログラムです。

このプログラムでは、アーティスト等がリサーチリーダーとなり、公募による参加者たちとフィールドワークなどの活動を通して、様々な視点から愛知を発見するプロジェクトを実施します。

このたび、豊橋市出身のアーティスト<sup>いのうえゆい</sup>井上唯氏をリサーチリーダーとした『“ほの国”を知るためのプロジェクト(仮)』を行うため、下記のとおり参加者を募集しますのでお知らせします。

**1 『“ほの国”を知るためのプロジェクト(仮)』について**  
リサーチリーダー <sup>いのうえゆい</sup>井上唯 (アーティスト)

民俗学者の柳田國男は、渥美半島の伊良湖岬で遙か南方の島から漂流してきた椰子の実を発見したことから、私たち日本人の祖先や文化が南方から黒潮に乗ってやってきたのではないかという説を生み出しました。また、東三河を貫く豊川は、内陸や山間部と海を結ぶ運搬路としても発展し、川を横断するルートで道が整備されてからは東西を結ぶ交通の要衝となっていきました。

“ほの国” = 東三河地方でのリサーチを通して、人、文化、モノがダイナミックに行き交う海や川に焦点を当てつつ、この地域の気候風土、そこから育まれてきた風景や人々の営みを大きな繋がりで見えていくことで、私たちのルーツやこの世界の在り方を探るプロジェクトに発展させていきたいと考えています。海岸の漂着物、貝殻、石などを収集したり、地域の方や専門家から話を聞いたり、身体やモノを通してみんなの思考と想像力を行き来させながら、プロジェクトの方向性と発表方法を模索していきます。

**2 参加者募集について**

- (1) 定員 10名(要申込) 定員を超えた場合は選考を行います。
- (2) 活動日 2021年11月6日(土)、11月13日(土)、12月5日(日)  
2022年1月8日(土)、2月12日(土)、3月12日(土)、  
4月16日(土)、5月7日(土)

※ 継続して関わっていただける方を募集します。

2022年6月以降も活動を行います。詳細については、公式ウェブサイトをご確認ください。

### 3 申込方法

国際芸術祭「あいち 2022」公式ウェブサイト 「ラーニング」 ページ  
(<https://aichitriennale.jp/learning/index.html>) よりお申し込みください  
申込締切 2021年11月2日(火) 正午



### 4 リサーチリーダー・プロフィール

井上唯 Inoue Yui

愛知県豊橋市出身。滋賀県在住。自然と関わるなかで生み出されてきた人間の営みや知恵にワクワクし、そこから学びつつ新たな視点で捉えていくことで、この世界の仕組みや目に見えない繋がりを“モノ”を介して想起させるような光景をつくり出したいと考えている。普段の暮らしの中で様々なモノを収集したり、それらを使って、作ったり、繕ったり、遊んだり、素材と対話しながら手を動かしていくことを軸に<生活>と地続きにある<制作>の在り方を模索している。主な展覧会：「Soft Territory かかわりのあわい」滋賀県立美術館(2021年)、「ヨコハマ・パラトリエンナーレ 2017」(神奈川)、「SOKO LABO」瀬戸内国際芸術祭 2016(香川)など



《“暮らし”と“作る”のあわい》2021  
Photo:Koji Tsujimura



《この土地に生きる》2019



「唯ぼーと：海辺の漂着物収集所」2020  
Photo:Syu Nakamura

### 5 問合せ先

国際芸術祭「あいち」組織委員会事務局(金田、平井)

(愛知県県民文化局文化芸術課国際芸術祭推進室内)

住 所 〒461-8525 名古屋市東区東桜一丁目 13-2 愛知芸術文化センター内

電 話 052-971-3111 FAX: 052-971-6115

URL <https://aichitriennale.jp/>

## 【参考】

### 「あいち 2022」ラーニング・プログラムについて

#### ○参加プログラム

一般を対象とした公開プログラム

- ・アーティストによる美術史講座
- ・「芸術祭」をひも解く：近代化と万博-オリンピック-芸術祭
- ・愛知と世界を知るためのリサーチ 他

#### ○スクール・プログラム

学校関係者（児童生徒・教員等）を対象としたプログラム

#### ○ボランティア・プログラム

対話型鑑賞のファシリテーターや会場案内などのボランティア育成のためのプログラム

### 「愛知と世界を知るためのリサーチ」とは

ラーニングの参加プログラム「愛知と世界を知るためのリサーチ」は、芸術祭の開催地である愛知という土地にまつわる様々な事柄をテーマに取り上げ、我々が現在立っている場所について明らかにしながら、「世界とは何か」という謎に迫るリサーチをベースとしたプログラムです。

その一つ①『監督と学ぶ』は、「あいち 2022」の監督・片岡真実が、今回の開催会場となる地域を中心に、専門家や地域の方々をゲストに迎え、対談形式で歴史・文化・産業などを学んでいくシリーズで、動画を公開していきます。

二つ目以降は、アーティスト等がリーダーとなって、様々な視点で愛知を発見していくプロジェクトを実施します。リサーチリーダーと公募による参加者たちが、フィールドワーク、ワークショップ等、グループごとのテーマに沿って自由な形式で活動を展開し、「あいち 2022」の開催期間中にその成果を発表します。

詳しくは各プロジェクトのページをご確認ください。